

令和3年度 第6回常任理事会 議事録

日 時 令和3年10月9日(土) 10:00~12:15

場 所 北農健保会館

出席者 印藤智一、家近昭彦、齊藤幸治、石崎 賢、
川崎尚子、浅野泰弘、笹森恭之、多田吉宏、
奥山 諭、藤原 正
(総務) 明井寿枝 (議事録)

<進行：奥山常任理事>

1. 開会

議事録署名人に印藤理事長、浅野常任理事、藤原常任理事の3名を選出

2. 理事長挨拶(印藤理事長)

高校選手権Web配信の関係で、UHBコンテンツ局の今村部長に参加をいただいている。多くの課題に関して、皆さんからご意見をいただきたい。

3. 協議事項

(1) 高校選手権の開催について(石崎競技委員長)

- ・ 衆議院選挙の日程が確定し、当初予定したとおりの大会日程で開催。
- ・ 札幌協会より、代表者会議後に開会式を短時間でやりたいとの提案。
- ・ 抽選会後に連絡会議(リモート)、UHBとの打ち合わせを実施。
- ・ 以前提案していたPCR検査等は今回行わない。ガイドラインの徹底をお願いする。
- ・ UHB今村氏から、大会のweb配信や試合放送について説明があった。

(2) 財務状況の確認と法人化の検討について(印藤理事長)

- ・ 全国インターハイ北海道開催について、来年より開催地に実行委員会が立ち上がる。開催に係る予算については厳しい状況であるので、北海道協会から100万円程度の支出を2年間お願いしたい。(藤原強化副委員長) ~ 大会の円滑な運営のために北海道協会として支援する。(印藤理事長)
- ・ 北海道協会の課題としては、「財務管理(収入減)」「人材育成(役員減少)」「協会組織(法人化)」がある。法人化については、将来的に目指したいと考え、他都府県の状況等を参考に検討した。しかし、あらゆる面から検討し、現段階での法人化ではなく、収入安定など状況を見ながら検討を進めていきたい。若手人材育成(強化費)については維持したいため、しばらくは基金を取り崩しながら運営をするが、新たな収入源確保や賦課金の値上げを含め、基金や一般会計の財務状況の安定化を検討していく。
- ・ デンソーを含め、北海道でホームゲームを開催しているVリーグチームと北海道協会との連携について、今後、話し合いをしながら検討をしていきたい。

(3) その他

- ・ 今後の高校生の大会については、会場の確保状況によっては無観客対応とする。

- ・ 90周年表彰者の決定について（齊藤総務委員長）

第5回常任理事会にて表彰者を決定し、第2回理事会に報告したが、一般表彰候補者に清水道彦氏（留萌協会）、特別表彰候補者に大谷孝男氏（函館協会）の追加推薦があり承認し、次回理事会に報告する。

4. 報告事項

(1) 日本協会関係（印藤理事長）

- ・ 天皇杯皇后杯ファイナルラウンド(群馬)は有観客で実施予定であり、JOCは10月12日に開催可否を決定する予定。春高は無観客にて実施予定で、抗原検査(一部チーム負担)を導入予定である。

(2) 各委員会

① 総務委員会（齊藤総務委員長）

- ・ デンソーホームゲームのチケット販売10月8日期日で案内中。購入のご協力をお願いします。

② 審判委員会（川崎審判委員長）

- ・ 10月16日・17日に、日B・日C講習会及びB級審査会を実施予定。

③ 強化委員会（奥山強化委員長）

- ・ JOC選抜の結団式が無事終了した。今後、感染対策を講じながら活動を開始していく。

④ 指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

- ・ ジュニアキャンプについて出場数を厳選して実施。

⑤ 加盟団体

- ・ 特になし

(3) その他

- ・ デンソースクールについて（印藤理事長）

選手だけでなく、指導者も学べるような取り組みをしたいとのこと。小・中が対象となるので要望があればデンソーに依頼したい。高校からも企画を上げていきたい。

5. 閉会（家近副理事長）

このように各委員が参集して意見を言い合える環境は大切。これからも忌憚のない意見をお願いします。

【次回 令和3年11月14日(日) 10:00～ きたえーる】

議事録署名人

理事長

印藤 智一

議事録署名人

浅野 泰弘

議事録署名人

藤原 正